



氏名 松岡崇暢 専門領域 農村社会学 地域社会学 環境社会学

主な担当科目 農山村社会学 地域社会学概論 照葉樹林保全活用論など

農山村の魅力

日本の農山村には、美しい地域資源(自然)が沢山あります。この地域資源は、農山村で生活する農家さんを中心にして維持管理されてきました。

農家の高齢化により、地域資源の維持管理が難しくなっています。適切な維持管理ができないと美しい景観、きれいな水と空気、大雨の時の土災害抑止など多面的機能の発揮に影響を及ぼします。実は農山村は都市を災害から守ってくれています。



農家の高齢化により、作付が難しくなった棚田を集落住民主体のNPOと都市住民により維持管理(岐阜県の事例)



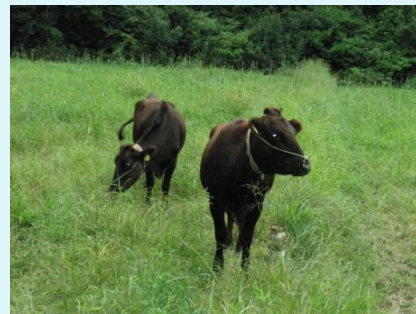
集落内で電力を生産し、
獣害対策の電柵に活用
(山口県の事例)



研究活動

協働による地域資源の維持管理

- 協働の合意形成
- 関わりやすい地域資源とは
- 地域特性を踏まえた協働のありかた
- 協働に適した主体とは



和牛放牧により農地の粗放的な管理+獣害対策(愛知県の事例)

耕作放棄地の解消

- 耕畜連携による粗放的な農地管理
- 農福連携による耕作放棄地への作付
- 人材育成による狭小農地管理
- 新しい都市農村交流の展開